

大正3（1914）年桜島爆発記念碑等の現状と今後の課題について（その2）

鈴木 敏之*

The present situation and assignment of Monuments for Mt. Sakurajima Eruption in Taisho 3 (1914), (II)

Toshiyuki SUZUKI

はじめに

鹿児島県内には、桜島の大正噴火の記録として各地に爆発および移住等の記念碑が存在している。当館では、平成21（2009）年度より過去の文献等をもとに県内に点在している大正3年の桜島爆発記念碑や移住記念碑等の現状について調査を行ってきた（鈴木2010・同2011・同2012・同2013）。

今年度はその続報として、新たに確認した記念碑等の現状と今後の課題及び大正噴火の遺産として記録を残すための当館での取組について報告する。

〔注〕碑文中の___の部分は、大正3年噴火に関わりのある部分で、~~~~の部分は、風化等により解読が難しい箇所である。現地での調査を基に文献等から補綴可能なものは補って記載してある。○については解読不能な箇所を示す。

1 平成23年以降に確認した記念碑等

(1) 記念碑／水神（始良市重富海岸）

〔調査日〕

平成23年
1月12日

〔所在地〕

始良市
重富海岸
堤防

〔建立日〕不明

（記載なし）

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩

〔碑文の内容〕

（表面）水神（裏面）記念碑

（左側面）

大正三年一月十二日桜島爆発……八月暴風之爲堤



図1 記念碑（重富海岸）

防破壊シ……爲メ……縣費補助ヲ稟ケ村營トシテ四年三月起工十一月竣工シ紀念ノ爲メ……堤防延長二百六十九間四分工費壹萬五千六百圓 地主一同
〔碑の状態〕

大正3年の桜島噴火が記されている。堤防修復を記念する碑であるが、岩石の風化により文字が読み取りにくくなっている。

(2) 塩田の碑（始良市塩釜公園）

〔調査日〕平成23年1月12日

〔所在地〕始良市松原（塩釜公園）

〔建立日〕昭和43年12月

〔岩石の種類〕溶結凝灰岩



図2 塩田の碑

〔碑文の内容〕

（表面）塩田の碑

（裏面）松原塩田工事は明治五年松原開拓方として帖佐戸長米良佐平太の責任において始められたが西南の役の爲一時中止され、同十一年再度工事は進められた。その面積は五十町歩で三区に分割され一、二号は郷友会の所有であった。明治四十一年には松原の有志、黒木亀吉 末永源太郎 石川太兵衛 村田熊右エ門 溝口嘉右エ門 黒木伊佐次 等の努力により一、二号を買受け希望者に配分し個人経営とした。当時の製塩家は一二〇余戸で盛況を呈してい

* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

たが、大正三年桜島爆発の際大津波が襲い堤防は忽ち決壊し塩田は一面の海となり復旧の術もなかった。然し大正四年一月中村正村長はこの復旧工事計画を立て東奔西走し補助金七万八千五百七十七円の許可を得たけれども村民の一部に阻止運動が起り村長は引責辞任した。その後蓑毛三藏村長が意を決して前村長の計画を遂行すべく献身的な努力をし大正七年二月六万九千六百参拾参円の補助金で堤防工事に着手した。更にまた拾六万四千二百円の起債で埋立工事を行ない同十三年全工事の竣工をみるに至った。その後は村営事業として再出発し、四国から技術者松井楨之助氏を招き、近代的な製塩施設に改めた。採かん家百二十六戸工場員六十名を備い、年間製塩量三千屯壺千八百万円の額に上る大製塩場となった。このため県下で一番税金の安い村と言われるまでに、松原や町の財政に寄与する処が大きかった。しかし昭和二十六年十月十四日未曾有の災害をもたらしたルース台風により堤防は決壊工場は流失し見る影もなく再起不能の荒廢地と化した。明治、大正、昭和、の三代八十余年に亘る関係者の苦心と努力の功績を称え、茲に明治百年に当り碑を建て、後世に伝える。

文 安田義満 藤山 等書

(左側面) 昭和四十三年十二月

明治百年記念 始良町

(右側面) 歴代場長 蓑毛三藏 他略

[碑の状態]

昭和43年の建立で、文字も十分読み取れる。大正3年の噴火で、大津波が発生し堤防決壊や塩田が被害にあったことが刻まれている。

(3) 櫻嶋爆発記念

[調査日]

平成24年

11月29日

[所在地]

霧島市

溝辺町

大川内岡

愛郷平和

祈念公園

[建立日]

大正3年

2月11日

[岩石の種類]



図3 櫻嶋爆発記念

溶結凝灰岩

[碑の内容]

(表面) 櫻嶋爆発記念

(右側面)

火口東西数十個所ニシテ濛々之音約十八日間續キ
尚未不止当地降灰積一寸以上

(裏面) 溝辺村大字麓北原青年團

大正三年二月十一日建立

(左側面) 大正三年一月十二日午前第十時櫻島爆発ス
全日十二時紀念之為櫻植ス

[碑の状態]

コケが生えて、多少文字は読みづらいがなんとか読み取ることができる。他にも碑があることから、公園整備の際に寄せ集められた可能性も考えられる。

(4) 櫻島爆発記念

[調査日]

平成25年

1月3日

[所在地]

鹿児島市

吉野町

下花棚

公民館

[建立日]

記載なし

[岩石の種類]

溶結凝灰岩

[碑の内容]

(表面) 大正三年一月十二日

(櫻) 島爆発記念 青年団

(裏面) 記載なし

[碑の状態]

櫻の文字が半分欠けてなくなっている。



図4 櫻島爆発記念

(5) 桜島爆発記念



図5 桜島爆発記念

〔調査日〕平成 25 年 3 月 28 日
 〔所在地〕曾於市末吉町二之方
 〔建立日〕不明（記載なし）
 〔岩石の種類〕溶結凝灰岩
 〔碑の内容〕
 （表面）桜島爆發記念
 （右側面）大正參年一月拾二日
 （左側面）川添雄熊建之
 〔碑の状態〕

直径約 40cm の小さなブロック状の石碑で、固定はされていない。文字はしっかりと読み取れる。個人が作った桜島の大正噴火を記念した石碑である。

(6) 烏島この下に（烏島埋没の碑）

〔調査日〕平成 25 年 1 月 3 日
 〔所在地〕鹿児島市桜島横山町（袴腰）



図 6 烏島この下に（烏島埋没の碑）

〔建立日〕昭和 26 年 1 月 18 日
 〔岩石の種類〕花こう岩（周囲は安山岩）〔碑の内容〕
 〈右碑〉
 烏島この下に
 HUIO FUIT INSULA KARASUGASIMA
 〈左碑〉
 烏島ハ高サ約二十メートル周囲凡ソ五百メートル
 玄武岩質岩石カラ成ス島デアッタ
 大正三年「西曆一九一四年」一月十三日桜島西腹
 カラ流出シタ熔岩ハ十八日遂ニ此ノ島ヲ埋没シ終ッ
 タ 茲ニ碑ヲ建テテ其ノ跡ヲ示ス 碑ノ建設ハ先ニ
 東京帝国大学名誉教授小藤文次郎並ビニ第七高等学
 校教授阿多実雄兩故人ノ計画シタ所デアッタ 今其
 ノ実現ヲ見ルニ至リ由来ヲ記ス
 西曆一九五一年一月十八日 東京大学教授 坪井
 誠太郎 鹿児島大学助教授有田忠雄 昭和廿六年一
 月十八日建之 西桜島村 芳湖人
 〔碑の状態〕

花こう岩に刻まれた記念碑で、内容はしっかりと読

み取れる。

(7) 桜島移住七十周年記念碑



図 7 桜島移住七十周年記念碑

〔調査日〕平成 25 年 10 月 3 日
 〔所在地〕錦江町田代内ノ牧
 〔建立日〕昭和 60 年 3 月
 〔岩石の種類〕花こう岩
 〔碑の内容〕
 （正面）昭和六十年一月十二日
 桜島移住七十周年記念碑
 墓地移転事業
 昭和六十年三月完成

〔碑の状態〕
 花こう岩に刻まれた記念碑で、内容はしっかりと読
 み取れる。

(8) 開墾記念碑

〔調査日〕平成 25 年 10 月 3 日
 〔所在地〕錦江町田代内ノ牧
 〔建立日〕大正 7 年 5 月
 〔岩石の種類〕溶結凝灰岩
 〔碑の内容〕
 （正面）開墾記念碑
 （左側面）大正七年五月竣工
 （右側面）発起人氏名
 〔碑の状態〕



図 8 開墾記念碑

詳しい説明は記載されていないが、移住の記念に

建立されたと思われる。

(9) 開拓魂

〔調査日〕

平成 24 年
3 月 21 日

〔所在地〕

垂水市
旧大野小
中学校

〔建立日〕

平成 7 年
8 月 12 日

〔岩石の種類〕

砂岩

〔碑の内容〕

〔正面〕 開拓魂

創立八十周年記念

平成七年八月十二日建立

〔碑の状態〕

文字は少ないが、しっかり読み取れる。



図 9 開拓魂

(10) 噴火記念

〔調査日〕

平成 25 年
10 月 23 日

〔所在地〕

霧島市牧園
町高千穂
(大窪邸内)

〔建立日〕

不明
(記載なし)

〔岩石の種類〕

安山岩

〔碑の内容〕

〔正面〕 噴火記念

〔左側面〕 大正三年正月十二日

〔碑の状態〕

個人が所有する記念碑で、記載内容は少ないが、しっかりと読み取れる。



図 10 噴火記念

(11) 櫻島爆發記念

〔調査日〕

平成 25 年
12 月 13 日

〔所在地〕

鹿児島市
山田町
(皇徳寺団地東口)

〔建立日〕

不明
(記載なし)

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩

〔碑の内容〕

〔正面〕 大正三年一月十二日

櫻島爆發記念

皇徳寺青年會

〔裏面〕 寄附者名と金額が記載されている。

(寄付者については省略)

〔碑の状態〕

コケに覆われて読みづらいが、何とか読み取ることができる。他にも碑があり、団地への取り付け道路整備の際に、この場所に寄せ集められた可能性が高い。



図 11 櫻島爆發記念

(12) 堤塘工事記念碑

〔調査日〕

平成 25 年
12 月 21 日

〔所在地〕

鹿屋市下高
隈町観音淵

〔建立日〕

不明
(記載なし)

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩

〔碑の内容〕

〔正面〕 堤塘工事記念碑

〔左側面・裏面・右側面〕

大正三年一月十二日櫻嶋爆發シ降流灰砂殆ト四尺ニ及ヒ河川濁流シ為メニ魚族全滅シタリ殊ニ爆發后ノ大洪水ハ未曾有ノ大氾濫ヲナシ堤塘ヲ決潰シテ土砂ヲ流シ以テ沿岸ノ耕地ヲシテ一望荒涼タル砂漠ト化セシメタリ依テ之レガ復旧ヲ計ランガ為メ河川改



図 12 堤塘工事記念碑

修工事施行セラレタリ然ルニ下流ノ沿岸尚水流屈曲シテ□地ヲ決潰シ其被害ノ及ブ所幾何ナルヲ知ル可ラズ茲ニ於テ更ニ工事ヲ増延シ右岸二百七拾五間左岸七十三間ノ修築工事ヲ施行シ大正四年十一月起工以來四箇月ヲ経テ茲ニ竣工ヲ告ケタリ

〔碑の状態〕

多少読みづらい部分もあるが、なんとか読み取ることができる。

(13) 耕地整理記念碑

〔調査日〕

平成 25 年
12 月 21 日

〔所在地〕

鹿屋市串良
町生栗須

〔建立日〕

大正 6 年
3 月 10 日

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩

〔碑の内容〕

〔正面〕

耕地整理記念碑

〔左側面〕 知事 高田直吉 ほか

大正六年三月十日建設

〔右側面〕 組合長 田之上熊吉 ほか

〔裏面〕

大正三年一月十二日ノ櫻島爆發ハ我縣史上特筆スベキ事變ニテ之ガ被害又實ニ甚大ナリキ我生栗須ノ田園モ一夜ニシテ白濱ト變ジ其ノ慘憺タル景言語ニ絶セリ而シテ之ガ復舊ニハ亦非常ノ困難ヲ來タシタリ時ノ村長入部祐廣氏ハ河川改修ノ急務ナルヲ説キ遂ニ之ガ實行ヲ見我生栗須モ第一回河川工事ノ恩典ニ浴シー万餘圓ノ堤塘竣工スルヤ耕地整理ヲナスノ機運ニ向ヒ即チ大正五年一月十四日工ヲ起シ大正六年一月四日無事竣工ヲ告グルニ至レリ而シテ之ニ要セシ經費ハ總計六千餘圓ニ達セリ爲メニ整理前ノ田面積十一町七反餘畑原野宅地三町七反餘計十五町六反餘ナリシヲ整理後ニハ二十町六反餘歩ノ面積ヲ計上スルニ至レリ仍而茲ニ其ノ概畧ヲ誌シ以テ之ヲ永遠ニ記念セントス

〔碑の状態〕

文字は何とか読み取ることができる。



図 13 耕地整理記念碑

(14) 開物成務の碑（笠野原耕地整理記功碑）

〔調査日〕

平成 25 年
12 月 21 日

〔所在地〕

鹿屋市笠
野原町
玉山神社

〔建立日〕

昭和 10 年
4 月 1 日

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩

〔碑の内容〕

〔正面〕

開物成務

笠野原耕地整理記功碑

笠之原ハ大隅國肝属郡鹿屋町串良町高隈村ニ跨リ東西三里南北四里六千町歩ノ地域ヲ總稱ス土地高燥地味肥沃ナリト雖古來人煙稀薄ニシテ農耕極メテ粗放ナリ史ヲ案スルニ天正二年島津氏ノ此地ヲ領スルヤ大ニ開拓殖民ヲ獎勵セリ寶永元年薩摩苗代川邑ヨリ三十余戸ヲ移殖シ厚ク之ヲ保護シタリ文政八年ニハ八十餘戸七百餘人ニ達セリト謂フ然ルニ其後住民ノ他ニ轉スル者多ク開拓頓ニ進マス降テ大正三年櫻島爆發ニ因リ耕地益荒廢スルニ至レリ歐州ノ大戰起リ我國食糧増殖ノ方策トシテ特ニ耕地ノ改良擴張事業獎勵セラルニ及ヒ大正九年鹿兒島縣土地利用研究所ヲ設立シ農業經營ノ研究ヲ試ミ笠之原開拓ノ資料トナセリ茲ニ於テ乎地方ノ有志大ニ奮起スル處アリ大正十二年相謀テ笠之原耕地整理組合ヲ組織シ翌年五月起工セリ然ルニ此地方土地高燥ナルヲ以テ飲料水ヲ需ムルコト容易ナラス數百尺ノ地下ヨリ畜力又ハ數人ノ人力ヲ以テ汲上ケ或ハ人馬ノ背ヲ以テ遠方ヨリ之ヲ運搬スルヲ要シ住民ノ勞苦最大ナリ乃チ笠之原水道組合ヲ創設シテ飲料水供給ノ計劃ヲ樹テ昭和二年五月工ヲ竣レリ耕地整理工事モ相續テ進捗シ通路ヲ四通八達セシメ耕地區劃ヲ整然タラシメタリ昭和四年二月一日農林大臣ヨリ開墾助成指令ヲ受ケ一千町歩ノ山林原野ヲ開墾シ又笠之原移住民招致組合ヲ設ケテ移住者數百戸ヲ募集シ開墾地移住獎勵金ノ交付ヲ受ケテ移住民ノ土着安住ヲ圖レリ斯クテ昭和九年八月總地積五千二百餘町歩ノ耕地整理工事全ク竣成ヲ告ケルニ至レリ所要經費無慮八十一萬五千



図 14 開物成務の碑
(鹿屋市笠野原)

餘圓ナリ

古來人煙稀薄ノ地今ヤ土地利用ノ合理化上水其他公共的設備ノ完備等農村計劃ノ完成ニ依リテ昔日ノ面影ヲ一變シ茲ニ理想農村ヲ創成スルニ至レリ是寔ニ利用厚生ノ道ニ順ヒ國本培養ノ功ヲ樹テタルモノニシテ蓋シ郷土史上曠古ノ偉業タリ今事績ヲ略叙シ以テ後世ニ傳フト云爾

昭和十年四月一日

農林省耕地課長 正四位勲二等 片岡謙撰

(裏面) 創立委員長 肝付郡長 日高彦市 ほか関係者の氏名が記載

[碑の状態]

長文であるが、しっかり読み取ることができる。

(15) 埋立記念碑

[調査日]

平成 26 年

1 月 10 日

[所在地]

肝属郡

東串良町

柏原

[建立日]

大正 7 年

6 月 20 日

[岩石の種類]

溶結凝灰岩

[碑の内容]

(正面) 埋立記念碑

(左側面から)

洲崎埋立地ハ素縣道柏原街道ニ沿ヒタル肝属川口ノ附寄洲及水面ニシテ只天與ノ遺利タリ今ヤ世運ノ進展ニ伴ヒ産業ノ増殖興業ノ發達ト共ニ交通ノ便備ハリ近ク海運ノ途亦開ケ貨物ノ集散日ヲ逐フテ益々盛ナリ茲ニ於テ當村會ハ大ニ見ル処アリ奮テ埋立ノ事ヲ可決ス然リト雖當時恰モ櫻島爆發ノ災害尚癒エズ串良川改修ノ大工事破レテ未ダ繕ハズ村基本金ハ河川ノ費途ニ運用シ從テ賦課ハ重ク財政大ニ苦シムノ時工費全部ヲ金錢賦課ニ求ムベカラズ即チ石工ノミヲ請負ニ附シ土工ハ全部夫役賦課トシテ大正六年秋工ヲ起ス舉村一致男女老幼晨ニ星ヲ戴キテ出デ土ヲ掘リ畚ヲ擔ヒタニ月ヲ踏ンデ婦ル始終一日ノ如ク孜々トシテ倦マズ撓マズ翌七年六月工ヲ竣ル夫役換算金ヲ合シ総工費八千百十円餘ヲ要シ面積八段八畝



図 15 埋立記念碑

十四歩ノ地ヲ山紫水明陸海連鎖ノ要路ニ得タリ之レ偏ニ村民ノ熱誠ナル公共心ト有志諸士ノ指導監督其宜シキヲ得ルニ非ズンバ安ソゾ能ク此偉績ヲ收ムルヲ得ンヤ蓋將來村ノ基本ヲ増成シ其發展ニ待ツモノノ渺カラザルベシ即チ其概要ヲ石ニ刻ミテ後日ノ考證ニ資ス

大正七年六月二十日 東串良村長 上羽坪藤太郎誌

鹿兒島縣知事橋本正治ほか(省略)

[碑の状態]

足場が悪く、少し碑が傾いている。碑文は、なんとか読み取ることができる。

(16) 水門改築記念

[調査日]

平成 26 年

1 月 10 日

[所在地]

肝属郡

東串良町

新川西

[建立日]

大正 13 年

1 月 12 日

[岩石の種類]

溶結凝灰岩

[碑の内容]

(正面) 水門改築記念

抑當水門ハ古來ノ柴堰ヲ革メ寶歴六年ノ春石水門ニ新築シ慶應貳年ノ秋破壊スルヤ起工ヲ仰ギ公司ヲ輔ケテ流量排落ノ度ヲ測リ改築ヲ爲セシハ中島翁ナリ其構造堅牢ナリト雖モ大正三年櫻島爆發シ降灰山野ニ堆積シ河溝ヲ埋メ沿河ノ田地渾土ニ化シ其慘害未曾有ニシテ林田堰以下母溝筋ノ各樋管ハ防○篩ヲ設ケタルガ故氾濫スル毎ニ滔々トシテ流砂ハ本閘ヲ壓迫スル事十有余年遂ニ破潰ノ止ムナキニ至ル茲ニ於テ左記水利議員諸氏ハ村水利會ニ諮リ補助ヲ申請シ金壹百六拾圓ヲ仰ギ得タリ實ニ是レガ改築ヲ資ケタリ勞力二百人余及計費三百九十余円ヲ投ジ今ヤ威狹隘ナルヲ感ジ間口五尺ヲ六尺五寸ニ擴張シ田土主任及び區長其他ノ協同努力ニ依テ客年十二月三十日起工シ大正十三年一月二十日ニ改築ノ工成ル茲ニ大要ヲ記シ碑文トス 日高榮熊書
大正拾三年一月貳拾日建設



図 16 水門改築記念

関係者氏名列記（省略）

〔碑の状態〕

日当たりが悪く、コケが生えているが、文字はなんとか読み取ることができる。

(17) 開物成務の碑（笠野原耕地整理記功碑）

〔調査日〕

平成 26 年

1 月 17 日

〔所在地〕

鹿屋市

下高隈

〔建立日〕

昭和 10 年

4 月 1 日

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩



図 17 開物成務の碑
(鹿屋市下高隈)

〔碑の内容〕

〔正面〕

開物成務

笠野原耕地整理記功碑… 省略

※内容については、鹿屋市笠野原、串良町のものと同じである。

〔碑の状態〕

長文ではあるが、文字はしっかりと読み取り可能である。

(18) 記念碑

〔調査日〕

平成 26 年

1 月 17 日

〔所在地〕

霧島市

下井海岸

〔建立日〕

大正 5 年

〔岩石の種類〕

溶結凝灰岩



図 18 記念碑

〔碑の内容〕

大正三年一月十二日櫻島爆發デ…

※あとは風化のために解読が難しい

〔碑の状態〕

文字は風化のために読み取り不能である。大正 3

年 1 月 12 日櫻島が爆發したことはなんとか読み取れる。近くに堤防嵩上記念碑が建立されている。

2 調査結果の活用と課題解決のための工夫

当館では、これまで 5 年間にわたり約 60 基の桜島大正噴火にかかわる記念碑の現状を現地で確認してきた。その一覧を文末の表 1（2014 年 1 月末現在）に示す。

調査結果から次のような成果と課題が明らかになってきた。

〔成果〕

- ・新たな記念碑も年々見つかり、桜島の大正噴火前後の様子や人々の動きを含めた社会背景等がより明確になってきた。
- ・大正噴火 100 周年事業など記念碑等が注目されることにより、防災も含めて県民等の桜島への関心が高まってきた。

〔課題〕

- ・大正噴火から 100 年が経過した今、風化により文字がはっきり読み取れない記念碑も見られる。
- ・中高生など若い世代に大正噴火の驚異や防災に対する先人の思いを伝えていく手立てが必要である。
- ・地元でもあまりその存在が知られていない大正噴火の記念碑があることが明らかになり、地域との情報交換や連携が必要である。

これらの課題を少しでも改善し、大正噴火を広く県民に紹介していくために博物館では、次のような取組を行った。

(1) 拓本として記録に残す

当館では、大正噴火にかかわる記念碑の調査結果を研究報告書にまとめるとともに、噴火の様子や防災への心構え等が顕著に刻まれている石碑について、拓本として記録を残し、大正噴火 100 年を記念した特別企画展や博物館での展示活動をとおして広く県民に紹介することにした。2014 年 1 月末現在、作成した拓本標本を表 2 に示す。

表 2 拓本として標本化した石碑

	石 碑	所在地	拓本採取日
1	櫻島爆發記念碑	鹿児島市 城山町	2010.1.10 ※ 2013.12.14
2	櫻島爆發記念碑	始良市 加治木町	2011.3.11
3	櫻島爆發記念碑	鹿児島市 東桜島町	2011.11.17

4	移住記念碑（追加碑含む）	南大隅町 大中尾	2012.11.21
5	烏島埋没の碑	鹿児島市 桜島袴腰	2013.10.29

(注) ※は中高生ボランティアとともに拓本を採取したものを標本化した。



図 19 烏島での拓本採取 (2013.10.29)

(2) 若い世代へ大正噴火を伝える

① 特別企画展での展示の工夫

当館において2013年6月15日～9月16日の期間に、特別企画展「桜島火山100年の軌跡」を開催した。この企画展では、大正噴火100年を迎えた桜島の噴火史を当館の所蔵する当時の写真画像や実物標本等を用いて紹介するとともに最新の火山研究や防災対策、人々の生活に焦点をあて紹介した。その中で特に、これまで作成した爆発記念碑の拓本標本を用いて、先人の防災に対する教訓を伝える展示を行った(図20)。また、展示した拓本標本には、中高生を対象として難しい文字にはふりがなを付けた原文と読み下し文の解説をつけて、児童・生徒も興味関心が持てるようにした。



図 20 標本展示した拓本

② 中高生ボランティアでの工夫

平成25(2013)年度は約70人の県内中・高校生

の登録があり、博物館活動の理解と社会体験を目的として年5回の定例会での活動と随時活動を行っている。本年度は、第2回定例会(8月)で大正噴火についての中高生向けのミュージアムトークを実施し、桜島大正噴火への興味関心を高めるとともに、第4回定例会(12月)では、照国公園内にある桜島爆発記念碑の解説と拓本採取の体験を実施した。身近にある爆発記念碑をとおして大正噴火や防災への意識や理解を高めることができたと思う。



図 21 拓本採取の体験 (12月定例会)



図 22 中高生が作成した拓本

また、分担して少しずつ採取した拓本は博物館内に展示している(図22)。自分たちの作品が博物館の展示として使われているという参加者の充実感、達成感を与える参加体験型の企画として、今後、博物館での展示のあり方を見直し、再検討する際の一つの方法として有効でないかと考える。

終わりに(大正噴火100年を迎えて)

平成21(2009)年から、主に県内にある桜島大正噴火に関する記念碑等の調査を行い、噴火100周年記念の特別企画展や博物館の展示活動で多くの来館者等に大正噴火の驚異について紹介することができた。これまで見過ごされがちだった県内に点在する貴重な大正噴火関連の記念碑にスポットが当たり、県民の興味・関心も高まってきた。また、大自然の

驚異と火山地帯で生活する上での教訓や心構えを若い世代にも伝えていくことも、まだまだ工夫、改善の余地はあるが、試行錯誤しながら工夫できつつあると考える。

調査や展示をとおして、桜島の爆発記念碑や移住記念碑以外の石碑からも大正噴火の猛威や噴火後に堆積した火山灰、軽石による土石流や堤防決壊等で河川、土地の改修作業を行った先人たちの苦労や偉業について確認することができた。大正噴火から100年が経過した今、公民館や学校、神社内にあり地域の方々にはしっかり見守られているものもあれば、廃校になった校舎の片隅にコケやツタがからまり、誰に気付かれることなくひっそり建っている碑もある。これらの碑は大正噴火の様子を物語る貴重な資料であり、先人からの大切なメッセージとしてさまざまな場面で積極的に活用したい。

これからの課題として、100周年の主な関連記念行事が終わった今、これまでに培ってきたネットワークを生かし、さらに関係者や関係機関と情報交換や連携を図りながら、今後の状況によって、これらの石碑を保護・保存したり、積極的に活用したりする手立てが必要であると考えます。

最後に、この場を借りて調査や展示にあたり、お世話になったすべての方々に感謝の意を表したい。

参考文献

- 岩松暉・橋村健一（2014）桜島大噴火記念碑～先人が伝えたかったこと，291pp. 徳田屋書店．
- 輝北町郷土史（2000）輝北町郷土史編纂委員会：719-722.
- 国分郷土史上巻（1998）国分郷土史編纂委員会：533-658.
- 国分郷土史下巻（1998）国分郷土史編纂委員会：326-336.
- 鈴木敏之（2010）大正3年桜島爆発記念碑等の現状について．鹿児島県立博物館研究報告，29:86-96.
- 鈴木敏之（2011）種子島における大正3年桜島爆発記念碑等の現状について．鹿児島県立博物館研究報告，30:73-75.
- 鈴木敏之（2012）大正3（1914）年桜島爆発記念碑等の現状と今後の課題について．鹿児島県立博物館研究報告，31:79-86.
- 鈴木敏之（2013）大正噴火遺産の保存と標本化．鹿児島県立博物館研究報告，32:79-86.
- 創立90年の歴史をふり返って（1990）輝北町立岳野小学校：1-19.
- 橋村健一（1998）桜島大噴火，229pp 春苑堂書店．
- 橋村健一（2014）桜島大噴火～よみがえる災害記録，175pp. かわち印刷．

表1 桜島大正噴火の記録を残す記念碑等（平成26年1月末現在）

鹿児島県立博物館

番号	碑タイトル(表面)	所在地	建立月日	建立者	碑の材質	補助碑	爆発碑	移住碑	関連碑	備考	
1	桜島爆発記念碑	鹿児島市東桜島町	東桜島小学校	大正13年1月	東桜島町	安山岩		○			1924(大正13)年1月
2	桜島爆発記念碑	鹿児島市桜島小池町	桜洲小学校	大正4年1月21日		安山岩		○			1915(大正4)年1月21日
3	桜島爆発記念碑	鹿児島市桜島松浦町	桜峰小学校	大正8年5月21日	西桜島町村?	安山岩		○		桜島町誌に記載あり	1919(大正8)年5月21日
4	有村一同祖先歴代總塔	鹿児島市有村町	共同墓地内	大正5年12月	不明(記載なし)	溶結凝灰岩			△		1916(大正5)年12月
5	桜島爆発記念	鹿児島市有村町	若宮神社境内	不明(記載なし)	不明(記載なし)	安山岩		○			不明(記載なし)
6	大正噴火(桜洲尋常・高等小学校埋没跡)	鹿児島市桜島横山町	桜島ユースホテル敷地内	昭和39年1月12日 昭和46年晩秋(追加)	明治28年第1回卒業生 鹿児島県知事寺園勝志	花こう岩 安山岩 花こう岩(補助碑)	●	○		主碑:大正噴火(桜洲尋常・高等小学校埋没跡) 追加碑が両脇に2つ	1964(昭和39)年1月12日 1966(昭和46)年晩秋(追加)
7	大正噴火九十周年記念碑	鹿児島市桜島横山町	レインボー桜島	平成16年10月17日	桜島町長 竹ノ下光	安山岩 花こう岩(補助碑)	●	○			2004(平成16)年10月17日
8	桜島爆発記念碑	鹿児島市城山町	照園公園(県立博物館裏)	大正5年12月	鹿児島市役所	花こう岩		○			1916(大正5)年12月
9	桜島爆発記念碑	鹿児島市伊敷町	諏訪神社(伊敷小学校前)	大正4年1月12日	?村長,校長名あり	溶結凝灰岩		○		上伊敷人民中	1915(大正4)年1月12日
10	桜島爆発記念碑	鹿児島市伊敷町	肥田,ユーツ(株)近く	大正3年4月10日	?青年中寄附金	溶結凝灰岩		○			1914(大正3)年4月10日
11	桜島爆発記念	鹿児島市伊敷町	甲突川左岸・田中宇都橋	不明(記載なし)	不明(記載なし)	溶結凝灰岩		○		隣に耕地整理記念碑あり	不明(記載なし)
12	桜島爆発記念碑	鹿児島市宇宿三丁目	脇田公園	不明(記載なし)	不明(記載なし)	溶結凝灰岩		○			不明(記載なし)
13	桜島爆発記念碑	鹿児島市上福元町	辻之堂後公民館	大正9年11月20日	原口青年會?	溶結凝灰岩		○		風化のため碑文解読難	1920(大正9)年11月20日
14	桜島爆発記念碑	鹿児島市郡山町	常磐	大正5年10月22日	村長	溶結凝灰岩		○		郡山町郷土誌に記載あり	1916(大正5)年10月22日
15	昭和大典記念碑	霧島市福山町	池ノ谷地区集会施設	昭和3年12月1日		溶結凝灰岩			△	故立山嘉兵衛氏記念碑(左側面)	1928(昭和3)年12月1日
16	記念碑	霧島市隼人町浜之市	隼人港近く	大正5年2月11日	?	安山岩			△	隼人郷土誌(郷土誌年表)に記載	1916(大正5)年2月11日
17	桜島爆発記念碑	始良市加治木町	柁城小学校	大正7年1月		溶結凝灰岩		○		風雨のため碑文解読難	1918(大正7)年1月
18	桜島大爆発記念碑	鹿屋市輝北町市成	上沢津公民館	大正9年1月12日	青年團	溶結凝灰岩		○			1920(大正9)年1月12日
19	桜島爆発記念碑	鹿屋市輝北町百引	愛宕	不明(記載なし)	(遠矢書)	溶結凝灰岩		○		隣に里道改修記念碑あり	不明(記載なし)
20	記念碑 桜島爆発	鹿屋市輝北町上百引	旧岳野小学校跡地(廃校)	大正15年3月25日	百引・牛根両嶽野	溶結凝灰岩		○			1926(大正15)年3月25日
21	桜島噴火記念	曾於市大隅町東坂元	東坂元自治会館	大正3年4月3日	不明(記載なし)	溶結凝灰岩		○		屋根付きの碑	1914(大正3)年4月3日
22	御即位記念碑 サクラ島フン火	曾於市大隅町中之内	梶ヶ野公民館	大正4年11月12日	岩川村中之内梶ヶ野区民一同	溶結凝灰岩			△		1915(大正4)年11月12日
23	桜島移民祖先之霊	鹿屋市花里町	花里公民館	不明(記載なし)	不明(記載なし)	溶結凝灰岩		○			不明(記載なし)
24	桜島爆発移住記念碑	肝属郡錦江町桜原		昭和3年3月6日		溶結凝灰岩		○	△	△:水道記念(左側面)	1928(昭和3)年3月6日
25	移住記念碑	肝属郡南大隅町大中尾	大中尾公民館	大正15年3月21日 平成10年2月(追加)	百引・川南・川北区長	花こう岩 花こう岩(追加碑)	●	○			1926(大正15)年3月21日 1998(平成10)年2月(追加)
26	土地所有者権移轉記念碑	垂水市大野原	大野原多目的集会施設	不明(記載なし)		溶結凝灰岩		○			不明(記載なし)
27	移住記念碑	小林市大王	大王公民館	大正12年1月12日 平成6年5月5日(追加)	西諸縣郡長 桜島町長竹ノ下光	安山岩	●	○			1923(大正12)年1月12日 1994(平成6)年5月5日(追加)
28	記念碑	西之表市国上	桜園神社境内	不明(記載なし) 昭和59年4月13日(追加)	不明(移住者?)	砂岩 カンプトナイト(追加碑)	●	○	△	追加碑として部落創立七拾周年記念碑が右隣にあり(移住記載あり)	不明(記載なし) 1979(昭和59)年4月13日(追加)
29	噴火 移住記念	西之表市古田	平松公民館	大正3年5月8日	不明(移住者?)	砂岩		○			1914(大正3)年5月8日
30	移住記念碑	西之表市古田	二本松水田再編研修センター	昭和23年4月1日		砂岩		○			1948(昭和23)年4月1日
31	創立70周年記念碑	西之表市	旧鴻峰小学校	平成元年3月	第54回卒業生	カンプトナイト		○	△	△:卒業記念に移住の記載	1989(平成元)年3月
32	移住記念碑	西之表市中割	国道58号線沿い	(大正3年3月12日?) 移住?建立?		砂岩		○		3月12日が移住日なのか建立日なのか不明?	(大正3年3月12日?) 移住?建立?
33	桜島爆発土地復舊工事記念碑	鹿児島市桜島武町	南方神社境内	大正14年4月12日	西桜島村耕地整理組合	安山岩		○	△		1925(大正14)年4月12日
34	桜島爆発記念	日置市東市来町郷戸(ごと)		不明(記載なし)	村長清藤仲蔵?	溶結凝灰岩		○		井進舎建築	
35	上福元 塩屋 耕地整理記念 桜島爆発	鹿児島市東谷山	桜川公園内	不明(記載なし)		溶結凝灰岩			△		
36	桜島大爆発移住記念碑	大崎町野方	角堂	昭和59年8月吉日	三代目松元正夫建之	砂岩 花こう岩(追加碑)	●	○			1979(昭和59)年8月吉日
37	串良川改修記念碑	鹿屋市串良町	豊栄橋左岸	大正6年6月	鹿児島県知事 高岡直吉	溶結凝灰岩				△:桜島噴火の記載あり	1917(大正6)年6月
38	堰改築碑	鹿屋市串良町細山田	井手神社	昭和5年5月建立	鹿児島県知事 山口安憲	溶結凝灰岩			△		1930(昭和5)年5月建立
39	新水門記	鹿屋市串良町細山田	井手神社	大正10年11月	東西両串良林田堰普通水利組合者	溶結凝灰岩			△		1921(大正10)年11月
40	開物成務の碑	鹿屋市串良町	大塚山公園	昭和10年4月17日	農林省耕地課長 片岡謙撰	溶結凝灰岩			△		1935(昭和10)年4月17日
41	復舊工事記念碑	鹿屋市高隈町	上重田	昭和10年4月	第一代耕地整理組合長 東 一左右ほか	溶結凝灰岩			△		1935(昭和10)年4月
42	河川改修記念碑	鹿屋市下高隈町		大正5年3月19日		溶結凝灰岩			△	大正5年2月改修竣工	1916(大正5)年3月19日
43	第2回河川記念碑	鹿屋市下高隈町		大正10年2月竣工		溶結凝灰岩			△	大正10年2月竣工	
44	城山隧道碑	鹿屋市下高隈町	高隈城跡	大正4年8月1日	工事委員 坂元友二ほか	溶結凝灰岩			△		1915(大正4)年8月1日
45	堤堰竣工記念碑	霧島市国分広瀬	大穴持神社	昭和29年3月	記念碑建設発起人委員長 中馬猪之吉	安山岩			△		1949(昭和29)年3月
46	土地整理記念碑	曾於市大隅町二重堀	大隅北公民館	昭和35年4月21日	鹿児島県知事 寺園勝志	溶結凝灰岩			△		1960(昭和35)年4月21日
47	記念碑/水神	始良市重富	重富海岸堤防	不明(記載なし)	不明	溶結凝灰岩			△		
48	塩田の碑	始良市松原	塩釜公園	昭和43年12月	歴代場長 養毛三蔵ほか	溶結凝灰岩			△		1968(昭和43)年12月
49	桜島爆発記念	霧島市清辺町大川内岡	愛郷平和祈年公園	大正3年2月11日	北原青年團	溶結凝灰岩		○			1914(大正3)年2月11日
50	桜島爆発記念	鹿児島市吉野町下花棚	下花棚公民館	不明(記載なし)	青年團	溶結凝灰岩		○		櫻の文字が欠損	
51	桜島爆発記念	曾於市末吉町二之方		不明(記載なし)	川添氏建之			○			1951(昭和51)年1月18日
52	鳥島この下に(鳥島埋没の碑)	鹿児島市桜島横山(袴腰)	鳥島	昭和26年1月18日	西桜島村(現 鹿児島市)	安山岩	○	○		駐車場内に「鳥島埋没跡」表示碑あり	1951(昭和51)年1月18日
53	桜島移住七十周年記念碑	錦江町田代内ノ牧	内ノ牧公民館	昭和60年1月12日建立		花こう岩		○			1985(昭和60)年1月12日建立
54	開墾記念碑	錦江町田代内ノ牧		大正7年5月		溶結凝灰岩		○			1918(大正7)年5月
55	開拓魂	垂水市大野原	旧大野小中学校	平成7年8月12日				○		創立八十周年記念	平成7年8月21日
56	噴火記念	霧島市牧園町高千穂	大窪氏邸内	不明(記載なし)		安山岩		○			
57	桜島爆発記念	鹿児島市山田町皇徳寺	皇徳寺団地東口	不明(記載なし)	皇徳寺青年會	溶結凝灰岩		○			
58	堤堰工事記念碑	鹿屋市下高隈町観音淵		不明(記載なし)		溶結凝灰岩			△		
59	耕地整理記念碑	鹿屋市串良町生栗須		大正6年3月10日		溶結凝灰岩			△		1917年3月10日
60	開物成務(笠野原耕地整理記功碑)	鹿屋市笠野原町	玉山神社境内(西口)	昭和10年4月10日		溶結凝灰岩			△		1935年4月10日
61	開物成務(笠野原耕地整理記功碑)	鹿屋市下高隈町	三角	昭和10年4月10日		溶結凝灰岩			△		1935年4月10日
62	埋立記念碑	東串良町		大正7年6月20日		溶結凝灰岩			△		1918年6月20日
63	水門改築記念碑	東串良町新川西		大正13年1月12日		溶結凝灰岩			△		1924年1月12日
64	記念碑/塩田高上記念碑	霧島市下井海岸		大正5年		溶結凝灰岩			△		1916(大正5)年